

認知症に関する活動計画（概要）

高知県作業療法士会では、2017年度より認知症の方に対応できる人材育成と作業療法士の地域参画を目的に、地域連携部認知症班として活動を行っている。

地域事業として、2021年度より班員が認知症カフェの運営に携わり開催している。また、介護予防事業の一環として県より認知症をテーマに講話の依頼があり地域住民の方への啓発活動を行っている。今後も、地域活動での人材育成や介護予防、認知症支援事業に作業療法士が参画できるよう活動していく。

認知症カフェへの参画

2021年度より認知症カフェ「カフェけらけら」の企画・運営を行い、今年度で5年目となる。毎回、担当者がテーマを決め、ミニ講座や脳トレ、体操、茶話会等を行っている。テーマに限らずその場で話題に上がった内容について助言を行ったり、包括支援センターの方やケアマネージャーの方等、他職種の方が参加していただいた際は、情報交換・意見交換を行ったりしている。

また、昨年度より喫茶店をお借りし、より入りやすい・参加しやすい雰囲気づくりを行いつつ、地域住民の方々の交流の場となっている。

継続して認知症カフェのロゴを用いて活動のPRとしている。



研修会

〈介護予防教室〉

2025年1月15日に高知県が主催している介護予防教室より講話依頼があり、地域住民の方に「MCIと認知症予防」をテーマに講話を行った。県内のあったかふれあいセンター等、25ヶ所とオンラインで繋ぎ、延べ157名の方が参加された。

〈認知症基礎研修〉

アップデート研修の参加者が年々減少していることもあり、2023年度に内容の見直し、変更を行い、2024年度から認知症基礎研修として開催した。新人の方・ベテランの方も参加され、参加者からは「県の取り組みが知れて良かった、認知症について再学習できた、評価法等を学びなおせた」等々の意見が聞かれた。

今後は、定期的に内容を更新しながら研修会は継続していきたい。